

テーマ：『ビオトープ「松が丘水路学習園」等を活用した理科・環境教育』

平塚市立 松が丘小学校

Tel. 0463-54-1624 担当 飯田しづ子
者：



■実践内容：

子供達が直接生き物にふれる体験を通して自然の楽しさや不思議さを感じることができるように、ビオトープ「松が丘水路学習園」を整備し、水中・水辺の生き物が成育しやすい環境を整えた。また、子供達が自由にウサギとふれあうことができるウサギランドを製作した。

水路学習園には、理科や生活科、総合的な学習の時間の学習で、水生生物の様子を観察したり、生き物と直接ふれあう体験活動ができるようにコイ・オイカワ・メダカ・ザリガニを放流した。

■実践成果：

松が丘小学校は住宅地の中にあり、子供達が遊べる川や田は近くにはない。生きているザリガニを触ることがなかなかできなかった子どもも、つりあげたザリガニを上手に持ち上げ、興味深く観察する姿が見られた。小動物とのふれあいを通して、新たな発見をしたり、接し方を身につけたりすることができ、自然や環境への興味・関心を高めることができた。

■実践ポイント：

子供達が直接、動物とふれあうことのできる環境づくりをねらいとし、ビオトープ「松が丘水路学習園」や「ウサギランド」を整備した。